



多くの方がオープンを見守ってくださいました



室内の様子



マザーシェルター外観

マザーシェルター完成
ロシナンテスを支えていただいております皆様、ザンビア事業部から嬉しいご報告がございます。兼ねてより皆様に工事の進捗状況を報告して参りました、中央州チサンバ郡ムワプラ地域のマザーシェルターがついに完成しました。
(マザーシェルターの詳細は遠回り25号を「」読んで下さい。)

マザーシェルター完成

遠回り

《第26号》

認定NPO法人ロシナンテス 発行

〒802-0082

北九州市小倉北区古船場町1-35

北九州市立商工貿易会館 7F

TEL:093-521-6470

E-Mail:info@rocinantes.org

特定非営利活動法人ロシナンテス
ROCINANTES



10月12日に、在ザンビア日本大使館の水内龍太特命全権大使、中央大臣、チサンバ郡チーフを招き、オープニングセレモニーを行いました。当日は関係者のほかに、完成を待ち望んでいた地域の住民や、近隣の学校の子どもたちも会場の外から、式典を見守ってくれました。

様々な工夫

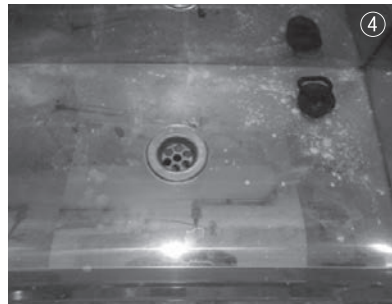
このマザーシェルターは、既存の診療所のすぐ隣に建設されました。事業の検討開始時は宿泊施設のみを想定しておりましたが、郡の保健局からの要望やムワプラ診療所で出産を経験したお母さんたちの声から、建物の中に分娩室を併設しています。既存の診療所の分娩室は、外来患者さんがあるすぐ隣の部屋だったため、妊産婦のプライバシーへの配慮に欠けていたためです。また、出産を間近に控えている家族が宿泊でき添いで来ている家族が宿泊でき



①



②



④

きる部屋も整備されています。



併設することになった分娩室

このマザーシェルターの設計と建設に関して、病院で出産するという「安全」だけではなく、お母さんたちに「安心」して出産日を迎えてほしいという思いから工夫した点をいくつか紹介します。

①シャワーを浴びているときに座ることができるベンチをシャワー室に設置しました。ザンビアではシャワー中に腰掛ける習慣はないのですが、お腹の大きな妊婦さんが立つてシャワーに入る苦勞を想定しました。

②既存の診療所からマザーシェルターへ通じる道には屋根をつけ、コンクリートで舗装し雨の日でも移動しやすくなりました。全て

の入り口はスロープ化されており、車いすでも容易に移動できるようになっています。

③外側のトタン屋根と中の天井の間に断熱材を入れることで、アフリカの暑い日差しを少しでも緩和して、妊産婦が快適に過ごせるようにしました。

④分娩室の中のシンクは排水が行いやすくなるように、大型のシンクを導入し、排水溝も通常の倍以上の大きさのものを設置しました。

更に、建物の外には別の屋根付きの多目的スペースを設置し、料理をしたり、面会に来た家族と話をしたりすることが出来ます。また、住民からの要望で、芝生のある庭も設置されました。この庭の設置は、搬入する土や芝生等、すべて地域住民からの持ち込みで作られました。現在は乾季のため、まだ十分に芝が育っていませんが、もうすぐ雨季が始まり完成する見込みです。

今後の期待と目標

オープニングの翌日から出産を控えた妊婦さんが入所しました。入所したり、内部を見学したりした妊婦さんたちからは驚き

と感動の様子が伺えました。また、ムワプラ地域の母子保健を支えるボランティアからも、このマザーシェルターが地域に存在することが、この地域の家庭や妊産婦の支えになると、多くの感謝の声をいただきました。



屋根付きの多目的スペース

今後は、どのようにしてこのマザーシェルターを維持管理し、施設を長続きさせていくかということが鍵になります。地域のボランティアや診療所職員と共に、想定される課題などを協議し、ルールや管理方法を確立させていきます。

2019年のロシナンテスザンビア発足以降、マザーシェルターの建設準備を重ねてまいりました。新型コロナの影響で事業が中断する等、駐在員、現地スタッフが、そして地域住民、それぞれに大変な時期もありましたが、ようやくここまで来ることができました。これまでご支援いただいた皆様への感謝の気持ちと達成感でいっぱいです。ご支援いただいております皆様に改めてお礼申し上げます。

事務局だよー

こんにちは、スーダン駐在員の池田です。10月はスーダン事務所にとても大きな動きのある月でした。中旬には待ちに待ったインバーター(非常用の蓄電装置)が事務所に設置され、停電中でもプリンターやパソコンが使えるようになったので、停電前に急いで印刷物をすませたりする必要がなくなり、とても便利になりました。ところが、喜んでいたのも束の間、それから間もない25日にクーデターが勃発し、突然インターネットと電話通信が遮断されました。電話はその後復旧し、奇跡的に事務所のWi-Fi回線も遮断を免れているので、導入したばかりのインバーターのおかげもあって、事務所では情報を得たり日本と連絡したりすることができています。大きな社会の流れの中で、それぞれが色々な思いを抱えつつ粛々と生活を営んでいるのを見ながら、自分が享受している自由と権利の重みを考える日々です。

私たちNPO法人ロシナンテスの名前は、小説「ドンキホーテ」に出てくるドンキホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテになれば、きっと何かできるはずだ!」と考え、「ロシナンテス」と名付けました。

今後ともこれを信念として一歩一歩進んでいきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願い致します。

ロシナンテス応援企業

内科・外科・消化器内科・緩和ケア内科



医療法人 明気会

岩本クリニック

理事長 岩本拓也

北九州市小倉南区中貫一丁目20-50

TEL 093-472-1281

FAX 093-472-6712

がんばれロシナンテス!

税理士法人

小城会計事務所

北海道旭川市東光8条1丁目1-1

TEL.0166-31-2313

内科/消化器内科/リウマチ科

柏木内科医院

院長 柏木 陽一郎

〒802-0064 福岡県北九州市小倉北区片野2-21-10

tel 093-921-7943 / http://www.kashiwagi-naika.com/

会報「遠回り」への
広告掲載で活動を応援して下さる
企業を募集しています。

お問い合わせは
ロシナンテスまでお願いいたします。

ロシナンテスへのメッセージ募集!!

お陰さまでロシナンテスは15周年を迎えることができました。コロナ禍やクーデターなど大変なことも多い今ですが、これからも様々なことを乗り越え、皆さまと一緒に活動を続けていきたいと思っています。そこで皆さまと未来への想いを共有したく、メッセージを募集いたします。これからのロシナンテスへ、活動地のみなさんへ、代表川原はじめスタッフたちへ、共にロシナンテスを応援している仲間たちへ…

期待や叱咤激励などなんでも結構です。

ぜひ皆さまの想いを聞かせてください! スタッフ一同、楽しみにお待ちしております。

必須内容を書き下し、【2022年1月末まで】にお送りください。

(いただいたメッセージは、報告書やロシナンテスのwebサイト・SNSに掲載させていただくことがあります)

【必須内容】メッセージ※100字以内(手書きの絵や画像も可※ご返却はできません)

お名前※匿名可(広報物等に掲載可能なもの)

【応募方法】専用webフォーム: <https://forms.gle/nLD7UmCymw63aVGx8/>

右記QRコードを読み取ってください。

メール: info@rocinantes.org (画像の応募はメール添付でお願いします)

FAX: 093-521-6471

郵便: 〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35-7F 認定NPO法人ロシナンテス宛



領収書の年一回発送についてのお知らせ

下記の対象者の方には、一年分のご寄付(1~12月受領分)をまとめて記載した領収書を翌年1月に発送しております。2021年分は、2022年1月末までにお届け予定です。もしも予定日を過ぎてもお手元に届かない場合は、ロシナンテスまでご連絡ください。

【対象者】毎月ご支援いただいている方(クレジットカード・口座振替)、年一回発送をご希望の方

年一回発送対象以外のご寄付につきましては、ロシナンテスが受領した日の翌月までに領収書を発送しております。届いていない場合やその他(紛失や破損など)ございましたらロシナンテスまでご相談ください。

雲 外 蒼 天

ザンビアの大統領選挙と政権交代

ザンビアの選挙と

日本の選挙の違い

選挙期間は、街中に各候補者や政党のポスターが貼られ、国中が選挙ムード一色になっていた。日本と異なるのは、国民に対して各政党のTシャツや帽子などのグッズを配ることができるという点で、有権者たちはそれらを身に付けて政党の支持を表明します。街頭演説等の際には、各政党を象徴する色を身に着けた人々でいっぱいになります。候補者の顔がプリントされた布を腰巻(ス

ザンビアの大統領選挙
2021年8月12日に、ザンビアで5年に一度の大統領選挙を含む総選挙が行われました。
ザンビアでは18歳以上が有権者とされており、そのうち事前に登録を済ませた国民のみが投票権を得られる仕組みになっています。実際に投票したのは約700万人中500万人程、有権者の約70%と、これまでのザンビアの選挙と比べても高い投票率だったそうです。

駐在職員の個人的な感覚でも、7月から8月にかけては、20代の若者から高齢者まで、どの世代の会話の中にも各政党の政策や方針等の選挙の話題が頻繁に出ていたと感じたようです。若い世代でもこれだけ選挙に関心があるというのは、自分たちの国をより良い国にしていきたいという思いの表れなのではないでしょうか。

今回特に印象的だったのは、有力候補者たちがSNSを積極的に用いて選挙運動を行っていたことです。昔ながらの選挙運動だけではなく、幅広い世代に届けようとする様子が見てとれました。
ちなみに選挙の当日、およびその翌日、そして大統領の就任日(明日8月24日)は休日となりました。こんなところも日本とは少し違う点です。

政権交代

今回の大統領選挙では16人の立候補者がいましたが、選挙前から現地メディアでは、2期目を目指す現職のエドガー・ルング氏と野党第1党の実業家ハカインデ・

平和なザンビア、生活水準の向上に期待
アフリカ各国の選挙では、しばしば選挙後に不正があった等というのを理由に、開票結果に納得しない候補者や政党からの意義申し立てがあり、選挙のやり直しや暴動が起こることがあります。しかし今回の大統領選挙では大きなトラブルもなく、円滑に政権交代がなされました。ザンビアとしては非常に誇れることなのではないでしょうか。

現在、ザンビアは経済不況に見舞われており、2年前に比べると倍近いクワチャ(ザンビアの通貨)安となっています。そのため、輸入品の価格上昇が続く、国民の生活は苦しい状況が数年の間続いていました。新政権では所得税減税や公教育の無償化、輸出時の課税強化等、国民生活重視の政策が唱えられています。少しでもザンビア国民の生活が豊かになり、更に生活水準が向上していくことを願っています。



ヒチレマ氏との一騎打ちになるだろうと報道されていました。
結果は、予想を上回る約100万票の差をつけて、野党のハカインデ・ヒチレマ氏の勝利となりました。
国民は結果が出るまでの間もテレビやSNSで報じられる情報をこまめにチェックしており、選挙結果を速報で見るために夜中まで起きていて、寝不足で仕事へ行った人もいたそうです。

ロシナンテスの仲間になってくれたローカルスタッフをご紹介します！

質問①ロシナンテスで働くことを決めた理由を教えてください。 質問②スーダンでおすすめの食べ物を教えてください。 質問③宝物は何ですか？ 質問④最後に一言！



スーダン事務所
タグワ



スーダン事務所
アードム

①保健を中心として、水、教育など幅広い分野の開発事業に携われると思ったからです。一つの村で統合的な事業を行うのは効果的で、良い変化をもたらせるのではないかと感じました。
②アシダとよばれる、ソルガムという穀物をお湯で練って作られる食べ物が最も一般的だと思います。ムラハ・タガリヤという、オクラ、肉、トマト、ニンニクの煮込みと一緒によく食べられます。私の家ではアシダはだいたい週に一回くらい食べますが、田舎ではほぼ毎日食べることもあります。
③家族です。
④小さな支援であつても、何もしないよりは良いことです。誰かに手を差し伸べたことに誇りを持ってください。

①スーダンの田舎で必要な支援を届ける人道的な仕事に関わりたかったからです。以前はメディアなどの会社でドライバーとして働いていましたが、ロシナンテスの仕事では、人を助け、社会に変化をもたらすことができると感じています。
②日本の人におすすめしたいのはムラハ・ウェカップという、牛乳、オクラ、ルバとよばれる豆を混ぜて煮込んだ料理です。アシダやキスラ(発酵したソルガムをクレープ状に焼いたもの)と一緒に食べます。自分自身は羊肉とナイル川で獲れる魚が大好きです。
③故郷のセンナール州ディンディルに住んでいる母です。とても働き者で、自分に一番近い存在です。
④スーダンへのご支援ありがとうございます。これからもスーダンに興味を持ってくださると嬉しいです。



ザンビア事務所
ロナルド



ザンビア事務所
セシリア



ザンビア事務所
ナターシャ

①NGOのドライバーとして働きたいと考えていたところに、ロシナンテスからのオファーがあったので、ありがたく受けることにしました。
②ザンビアの主食であるシマはもちろんのこと、落花生をすりつぶして野菜と一緒に炒めたイフサシがおすすめです！
③宝物は家族です。理由はないけど、愛しています。
④ロシナンテスのドライバーとして働くことができて幸せです。

①ザンビアで最も重要な取り組みの一つである母子保健サービスの改善に関する活動を行っているNGOで仕事をしたいと考えていたからです。
②シマと一緒に食べるカベンタという小魚とオクラです。
③家です。
④私もかつて、日本の皆さんからのサポートで学校を修了することができました。日本からご支援いただいている皆さんに感謝します。

①弱い立場にある人の助けになりたいという私の思いに、間接的にも直接的にでも関わることができるのがロシナンテスだと思ったからです。
②チカンダと呼ばれる落花生からつくられる食べ物をお勧めします(かまぼこみたいな感じ※駐在職員田中談)
③私の宝物はお母さんです
④何百人もの人々の暮らしが皆様の支えによって変化しています。遠く離れた日本からザンビアに対してのご支援をいただきありがとうございます。

日々ツラツラ日記⑧

「スーダンの結婚式に初出席！」

スーダン駐在員の池田です。スーダンでは結婚式に呼ばれる機会が多いと聞いていたのですが、このたびはスタッフ・ラビアの妹が結婚することになり、ついにスーダンに来て初めて結婚披露宴に行くことになりました。今回の会場は屋内で、入ると左右がそれぞれ女性ゾーンと男性ゾーンになっていました。日本のような席次表はなく、空いている席に自由に座ることができます。



会場の一番奥には弦・管・打楽器から成るバンドのステージがあり、あちこちに設置されたモニターで、バンドの演奏や新郎新婦の様子が映し出されていました。女性はトープ、男性はジャラベヤと呼ばれる伝統衣装を着て、さらに女性はメイクやヘナ手足に施す染色模様でおしゃれをしていて、とても華やかです。一張羅を着た子どもたちも会場後ろの広いスペースで走り回って遊んでいます。宴の最後は生演奏に合わせて人々が踊り、23時ぴったりにお開きになりました。週はじめの日曜日(スーダンでは平日は日曜日から始まります)の夜という、体力的に少しきつい時間帯でしたが、人の繋がり、の温かさと熱気を感じる事ができた一夜でした。

日々ツラツラ日記⑨

「マザーシェルターの廃材再利用」

こんにちは、ザンビア駐在員の杉本です。新型コロナウイルスの影響で家に籠ることも多かったため、ここ数か月は廃材を利用したDIYや野菜の栽培に取り組んでいます。

こちらは5ℓのワインの空箱を小物下着、靴などの整理用に再利用しているのは、マザーシェルター建設の廃材(天井用板)を利用した棚板です。さらに、夜間にパソコンを窓の近くに置かなくても済むよう、同廃材(薄いベニア板)で小さい棚を作りました。



こちらは今育てているトマトとゴーヤの写真です。芽が出てから2か月ほどはちつとも成長しなかったトマトは、ここ1か月で気温が上がったせいか、花が咲きました。ゴーヤは、1度目は芽が出ませんでした。2度目の挑戦で大きく育ってました。これらも購入した5ℓの水のペットボトルを再利用しています。

クーデター直後のスーダンより

2021年10月25日早朝、スーダンでクーデターがありました。再び先行きが不透明な状況となりましたが、事務所の付近は比較的平穏で、スタッフは皆無事です。

クーデターの前週には民衆が呼びかける形で大規模なデモが行われていました。民主化を促すためのデモであり、軍部との衝突が懸念されましたが、平和裡に終わり安堵していた矢先のことでした。

2019年に国民が一体となってデモや座り込みを行い、最後は軍が時のバシル大統領を退陣させ、軍と文民が半々となる暫定政府が樹立されました。暫定期間の前半は軍人がトップとなり、後半は文民がトップを務め、暫定政権のあとに2023年暮れ頃には選挙をして正式な政府を樹立となる予定でした。

軍がトップを明け渡すのがこの11月であり、軍が主導権を文民にわたすのを拒む意図もあり今回の暴挙に出たものと思われまふ。軍のトップであるブルハン氏は、「現在の暫定政権を解散する」「民政移管を行うための準備作業を継続する」と宣言した後、新たな新体制を発表し、ブルハン氏自らトップに立つて指揮を執っている状態にあります。住民の中でも様々な考え方がありますが、民主化を願っていた人々の怒りは想像を超えるものがありました。

スーダンの様子を簡単にご紹介したいと思い、理事長の川原が現地スーダンでご挨拶の動画を撮影しました。引き続きスーダンの状況に関心をお寄せいただけたらうれしいです。



動画はこちら
<https://youtu.be/GLR4IFk1cEo>

EVENT REPORT 国内イベント

※すべてオンラインで開催しました

6月5日(土)

2020年度活動報告会

2020年度の活動報告会を開催し、各取組み其々に関する内容報告を実施し、左記のような内容についてたっぷりお伝えしました。

■新型コロナ対策支援事業として、スーダン・ザンビアでマスク、消毒液等の配布、啓発活動を実施。
■スーダンで生活用水の役割を持つハフィール。水量が十分でない既存のハフィールを改修し、家畜による汚染予防のためのフエンスや砂ろ過の装置の新設を予定。

■スーダンで、崩れそうな教室や、教室数が足らずに木の下や小屋で勉強している子どもたちのために、学校の校舎改修を予定。

■ザンビアで、出産前に宿泊できる場所のなかった診療所にマザーシェルターを建設中、危険性の高い妊婦を特定しやく

するエコー導入にも取り組む予定。
■ザンビアにおけるSafety Mother-hood Action Group(SMAG)というヘルスボランティアの育成事業を実施中。

8月18日(水)

スーダン活動報告会

スーダン事業の活動報告会を一般の方向けに、オンラインにて行いました。報告会では、現在取り組んでいるハフィール事業の詳細のほか、新型コロナ対策支援の様子や現在のスーダン国内での感染状況の共有も行いました。またインフレ率が400%近くなり悪化の一途をたどる経済状況や日々の生活への影響についても写真や動画をまじえてご報告しました。

9月8日(水)

ザンビア活動報告会

ザンビア事業の活動報告会を一般の方向けに、オンラインにて行いました。報告会では、完成間近のマザーシェルター建設についてを中心に、ザンビアの妊産婦死亡率や新生児死亡率の厳しい現状を受けて、ロシナンテスの手がける母子保

健の分野での三つの事業の現状や目的について共有しました。また新型コロナウイルスの感染状況やロシナンテスとしての支援についても、現地に赴くスタッフより、報告を行いました。

10月10日(日)

「フォトグラファー内藤さんの原動力」を聴く

各回ロシナンテスにご縁のあるゲストをお招きして、理事長川原がお話を伺いする設立15周年記念企画。今回のゲストは、いつもロシナンテスに素敵な写真を提供して下さっている内藤順司さんでした。スーダンでの思い出話に始まり、内藤さん突き動かす原動力となっているものについて、貴重なお話を伺いました。

違うスーダンへの渡航。患者さんと向き合う川原の姿を撮影することは「カメラマン冥利につきる」経験だった。
■内戦や紛争といったイメージとは裏腹に、国中をめぐる見た景色はどれも「第二の故郷」かと思うほど穏やかなもの。そこには日本で見つかる人間模様や暮らしがあり、人が生きることの原点をみたと感じたとのこと。
■村に入るときは「一台だけカメラを持って、村長にご挨拶。撮影前に子供たちとサッカーをして遊び、関係性を築くこと」「家族の一員になる」ことを大切にしている。

物事に没頭している人のエネルギーに時代を照らす「明かり」を見出し、撮り続けることが喜びと語る内藤さん。「これからもお互い走り続けましょう!」との力強い言葉を頂きました。

対談の様子はYouTubeでご覧いただけます。また15周年記念の祝い、送料無料で写真集「もうひとつのスーダン」を販売くださっています。



内藤さんとの対談はこちら
<https://youtu.be/V0hgB0jX038>



平成22年度社会貢献者表彰で受賞

2021年8月、社会貢献支援財団による「創立50周年記念表彰」の受賞者に、理事長の川原が選ばれました。

社会貢献支援財団が今年の5月1日に創立50周年を迎えたことを記念して、過去10年の受賞者から5名が改めて選ばれ、表彰されました。川原は、平成22年度社会貢献者表彰で受賞していました。

社会貢献者表彰制度とは
公益財団法人社会貢献支援財団が、財団設立の1971年以来、社会の各分野で功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、その貢献に対して表彰を行っているものです。これまでの50年間の表彰件数累計は、



1万2579件に上ります。

川原よりメッセージ

このたび、社会貢献者支援財団から創立50周年特別表彰をされました。過去10年間に表彰された個人や団体から5つの個人団体が選ばれたうちの1人だそう。

これも我々の医療支援活動を支えてくださるご支援者の皆さまをはじめ、応援してくださる多くの方々のおかげです。心から感謝申し上げます。

私は2010年に表彰を受けましたが、表彰されたことで社会的信用を得た、と実感したエピソードがあります。

2011年に東日本大震災の後、医療支援などの活動を始め

ましたが、地域住民の中に入り込んで支援活動を行うスタイルだったために、「川原には政治的、宗教的背景があるんじゃないのか?」と一部の方に怪しまれました。しかし、しばらくして住民の方から「おらはあんだのこど誤解しとった。あんだは表彰されただのだね。」と声をかけてもらったのです。怪しいのではないかと思っ

て調べたところ、社会貢献者表彰で表彰されているのを見つけて安心したとのことでした。この表彰のおかげで東北の方に心の底から受け入れてもらったようなものです。

今後も、スーダンそしてザンビアのために頑張つてまいります。どうぞ、よろしく申し上げます。

各種情報変更フォームを設置

郵便物の送付先やご連絡先を変更したい、毎月のご支援の金額を変更したいなど、各種情報変更を行えるフォームをウェブサイト上に設置いたしました。ぜひご利用ください。(これまで通りお電話やメールでのやりとりも可能です。)

各種情報変更はこちら。

<https://www.rocinantes.org/change/>

右記QRコードを読み取ってください。



各種情報変更
(住所変更、寄付金額変更など)

住所、電話番号、メールアドレスなどの情報変更

メールマガジンの送信先変更・解除

郵便物の停止

毎月・毎年の継続寄付の寄付金額を変更

継続寄付のクレジットカード、銀行口座の変更

毎月・毎年の継続寄付の停止

寄付金額変更フォーム

支払情報変更フォーム

寄付停止フォーム

国内の活動

EVENT INFORMATION

2021年12月17日(金)

マザーシェルター完成報告会開催【オンライン】

マザーシェルター(妊産婦待機施設)建設完了のご報告を中心に、エコーの導入やボランティアの育成など、ザンビアで取り組む母子保健事業についてお話しします。またザンビアにおける新型コロナウイルスの状況についてもご共有できればと思います。

日程■2021年12月17日(金) 19:30開始/21:00終了

場所■オンライン(ウェブ会議ツールzoomを使用予定)

必要なもの/PCまたはスマホ(資料や映像等を画面に共有しますので、PCがおすすめです)

お申し込みはこちら/
<https://forms.gle/2pQVJAbrkgLUmTAn7>



2022年2月17日(木)

ハフィール事業進捗報告会開催【オンライン】

ハフィール(ため池)改修事業の進捗を中心に、スーダンで行う事業の報告会を開催します。クーデター後の様子や新型コロナウイルスの状況についてもご共有できればと思います。

日程■2022年2月17日(木) 19:30開始/21:00終了

場所■オンライン(ウェブ会議ツールzoomを使用予定)

必要なもの/PCまたはスマホ(資料や映像等を画面に共有しますので、PCがおすすめです)

お申し込みはこちら/
<https://forms.gle/isgT94Paci37hJPR6>

